

1. 検討の背景

■検討の背景・計画の目的

南流山駅の利用者数は増加傾向の一方で、駅前には訪れる人が少なく、通過が中心の空間になっています。本計画は、駅前広場の整備を起点として、**周辺民有地の更新誘導**や**沿道空間の形成**、さらには**駅周辺における回遊性の向上につなげる**ことを目的としています。なお、本計画の対象区域は、**南流山駅の北口駅前広場および南口駅前広場**とします。



▲北口駅前広場 (現状)



▲南口駅前広場 (現状)

■上位計画等における位置付け

□南流山駅周辺地区まちなみづくり指針(令和6年2月)

- 多くの人が集まるまちにふさわしい、たくさんの魅力がつながるまち
- 「住みたい・来たい」を創り出す、快適な都市環境

このコンセプトに基づき 単なる通過空間ではなく、滞留や交流を促す場として再編し、交通機能と滞留機能の両立を図ることで、地域に開かれ、**訪れた人が過ごしたくなるような駅前空間の形成および、駅周辺の滞留空間の創出**を目指します。

2. 駅前広場の利用実態

■交通量調査

北口駅前広場および南口駅前広場のいずれにおいても、ロータリー内側やタクシースペースなど、本来送迎利用を想定していない場所での乗降・待機が確認されました。また、朝ピークより夕ピークの方が、**平均停車時間が2分以上増加する**結果となりました。



▲朝ピークの様子



▲既存路線バス



▲イベント開催時の様子

■既存バス路線運行状況調査

南流山駅周辺地区まちなみづくり指針に示す駅前広場の機能分担の考え方にに基づき、南口駅前広場を発着する既存バス路線の北口駅前広場への集約可否を検討しました。
⇒**多くの時間帯において停車スペース(バス数)を上回ることはありません。仮に一時的に超過する場合であっても、①運行事業者との協議を踏まえた発車時刻の見直しやダイヤ調整等の対応を行うこと、②バス会社ごとに乗り場を集約すること、③バス停数の増設することなどを、検討することにより対応します。**

■駅前広場利用者ヒアリング調査

駅前広場でイベントを実施する利用者に対して、ヒアリング調査を実施しました。

[寄せられたご意見等]

- ・乗り換え中心の動線のため、広場に滞留が生まれにくい状況。
- ・ベンチ配置や車両動線を見直し、歩行者空間を拡張してほしい。
- ・流山の南の玄関口にふさわしいデザインにしてほしい。

など

■交通事業者等ヒアリング調査

駅前広場で運行する事業者(バス事業者、タクシー事業者、企業送迎バス)に対して、ヒアリング調査を実施しました。

[寄せられたご意見等]

- ・通勤通学時等の混雑時に歩行者と車両の動線が交錯しやすい状況。
- ・タクシー駐車場など駅に近いスペースに送迎車両の一時停車が集中し、滞留が発生しやすい。
- ・交通機能を集約するのであれば北口駅前広場が望ましいが、利用者の混乱が懸念。

など

⇒**駅前広場における交通処理と安全確保が課題として認識されていることを確認しました。**

■説明会及び意見募集の実施

駅前広場利用実態調査の結果を踏まえて、基本計画(案)を作成し、説明会を実施しました。

[寄せられた意見(大分類)]

- ・交通方針に関する意見
- ・滞在、商業、出店運用に関する意見
- ・連携・ビジョンに関する意見
- ・歩行者の安全に関する意見
- ・運営、防災、公共施設に関する意見
- ・周知、広域回遊に関する意見
- ・駐輪に関する意見
- ・雨、暑熱に関する意見



▲説明会の様子

3. 南流山駅前広場の将来像と基本方針

■利用実態の整理

-交通事業者等の声-

- ・交錯が危険
- ・送迎車両が集中
- ・一定の集約は可能

-利用者の声-

- ・広いスペース
- ・屋根、ベンチ
- ・安全な空間
- ・管理ルール
- ・鉄道事業者との連携
- ・照明
- ・利便性
- ・商業機能の集積
- ・民間活力の導入

■将来像と基本方針

○将来像

人が集まり、楽しめる。南の玄関口にふさわしい「駅前の緑豊かで快適な都市空間」をつくる。

○基本方針

方針1：円滑に行き交え、安全に利用できる駅前空間

- ・北口駅前広場に交通機能を集約するとともに南口駅前広場にも一時停車スペースを設けます。
- ・歩行者と車両の交錯をできる限り減らし、安全性を高めます。

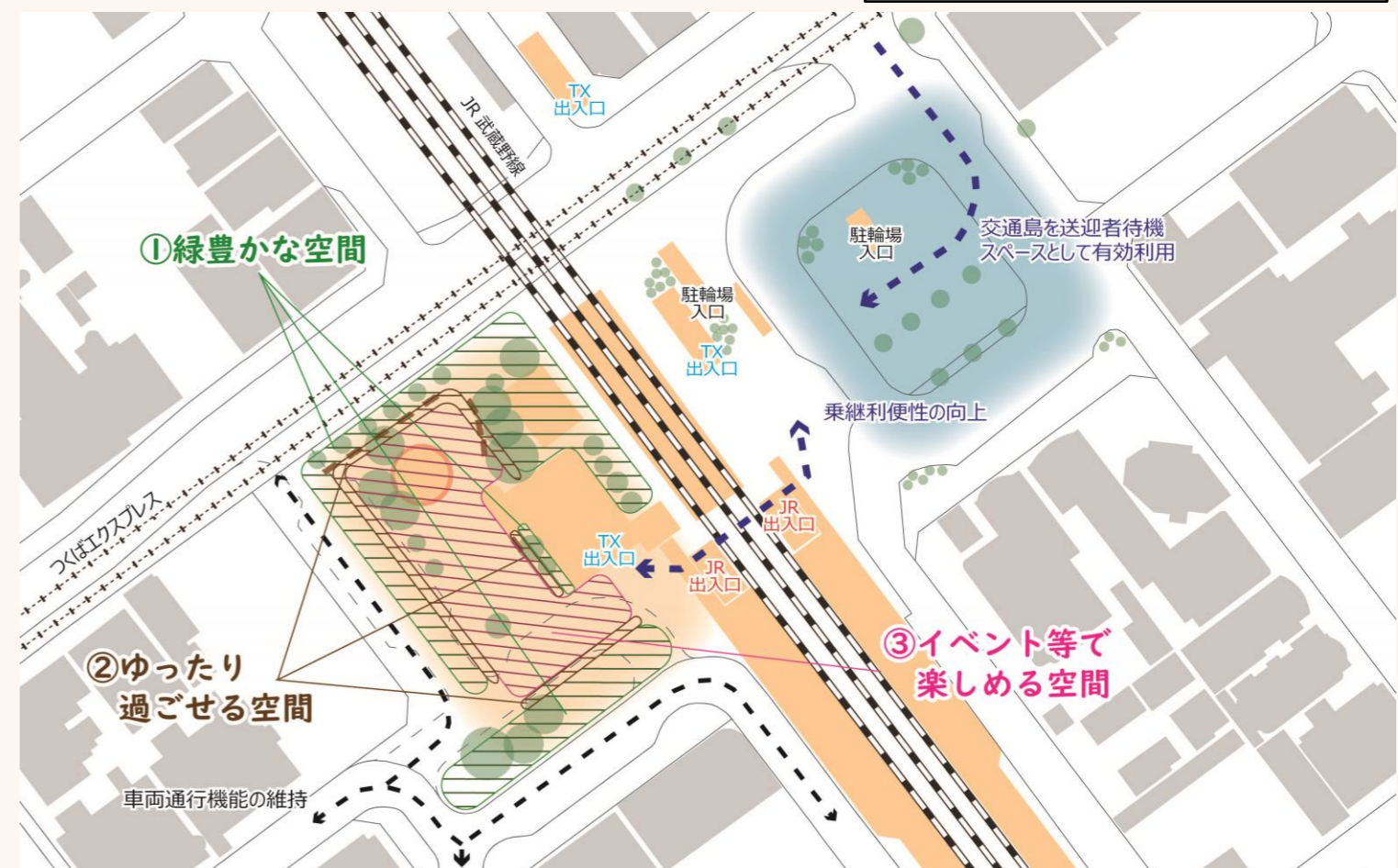
方針2：日常的に訪れたくなる居場所

- ・南口駅前広場に環境機能を集約します。
- ・ベンチや緑陰など、滞在しやすい環境を整えます。
- ・イベント時にも無理なく対応できる柔軟な空間構成とします。

方針3：使いながら育てていく広場

- ・利用ルールや管理運営組織の構築を検討します。
- ・周辺住民への配慮を図り、持続可能な運営方法を検討します。

○ゾーニング図



○駅前広場の役割整理

〔北口駅前広場〕	〔南口駅前広場〕
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な交通処理 ・乗り換え ・送迎 ・利便性と安全性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・滞留 ・待ち合わせ ・イベント ・日常利用
交通機能の充実	環境機能の充実

○南流山周辺地区まちなみづくり促進奨励金制度の活用
南流山駅周辺の商業・近隣商業地域においては、奨励金制度の活用を促すことにより、**商業施設等の立地誘導**を図ります。

■交通機能の充実に係る整備方針

方針1：円滑に行き交え、安全に利用できる駅前空間

【交通処理方法を再構築します。】

- ・段階的な整備の実施・・・利用者の混乱や交通事業者の運行に支障を及ぼさないように、段階的な再編に留意します。
- ・安全性の確保を最優先とした動線計画・・・**歩行者と車両の動線を見直し、交錯の低減**を図ります。あわせて、**事業用車両と送迎車両の動線を分離**するとともに、**歩行者と自転車の交錯についても可能な限り低減する**動線構成とします。
- ・利便性の向上・・・送迎やバス・タクシー利用者の**利便性を上げる**空間構成とします。また、一時停車スペースについては、**交通島の有効活用および南口駅前広場に一部設ける**ことで**現状以上の台数分を確保し、停車しやすい配置**を検討します。

【利用者の円滑な乗降に配慮した駅前広場を形成します。】

- ・三角バスベイの導入、バリアレス縁石の設置など、**誰もが円滑に乗降できる環境の確保**についても検討を進めています。

【利用者にとって安心して利用できる駅前広場を形成します。】

- ・夜間においても安心・安全に利用できる空間とするため、**暖色系の照明**を活用し、**見通しの確保や死角の低減**に配慮することで、魅力的で落ち着いた空間を形成します。

【利用者に配慮した機能と運用を備えた駅前広場を形成します。】

- ・**自転車駐車場の設置検討**・・・**自転車駐車場の不足や安全性の確保といった課題**を踏まえ、適切な配置について、今後の検討を進めます。

【駅前広場整備事例】

流山おおたかの森駅 西口駅前広場
一般車とバスの導線を分離



三重県 亀山駅 駅前広場
交通島内に一般車乗降場を整備



新潟県 新潟駅 南口広場
バリアレス縁石及び三角バスベイの設置



■整備イメージ



▲全体鳥瞰図(北口駅前広場)



▲改札口から眺めた様子(北口駅前広場)



▲全体鳥瞰図(南口駅前広場)



▲イベント開催時の様子(南口駅前広場)

4. これまでの検討経緯及び今後のスケジュール

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| ①令和6年5月～令和8年1月：駅前広場利用実態調査 | ⑤令和8～9年度：基本設計・実施設計 |
| ②令和8年2月：説明会の実施 | ⑥令和10～11年度：駅前広場改修整備工事 |
| ③令和8年2月11日～3月12日：意見募集 | ⑦令和11年度以降：運用開始・評価・改善 |
| ④令和8年5月：南流山駅駅前広場改修基本計画策定 | |

■環境機能の充実に係る整備方針

方針2：日常的に訪れたいくなる居場所

①緑豊かな空間

- ・**隣地や道路空間との境界**となり、駅前広場の輪郭をつくる緩衝空間。
- ・現在の植栽を活かしながら、**中高木からなる緑陰空間**を広げます。

②ゆったり過ごせる空間

- ・**日常的に利用**しやすく、**木陰でひと休み**したくなる空間。
- ・イベント時にも来訪者が座る場所として機能します。

③イベント等で楽しめる空間

- ・**イベント開催時のステージ**や**キッチンカー**が展開できる空間。
- ・使いやすいステージを設け、**イベント時の拠点**として活用します。

【「通過が中心の空間」から、「日常の中で心地よく使える空間」へと段階的に育てていきます。】

- ・**居心地の良い滞留空間(サードプレイス)の形成**・・・**居心地の良い滞留空間(サードプレイス)**を整備します。
- ・**日常的な滞留を促す環境の形成**・・・緑やベンチ等を配置し、日常的に滞留しやすい環境を形成し、**日常の中で心地よく過ごせるにぎわいの創出**を目指します。
- ・**快適な滞在環境の確保**・・・雨天時や夏季の暑熱時においても快適に滞留できるよう、**屋根や緑陰の活用**などにより、滞在環境の向上を図ります。
- ・**鉄道事業者との連携による一体的な整備**・・・**駅前広場と鉄道施設との連携**を図り、一体的で利便性の高い空間形成を目指します。
- ・**防災機能の確保**・・・災害時に活用可能な広場となるよう、**防災機能のあり方**について今後の検討を進めます。

方針3：使いながら育てていく広場

【活用を促す仕組みを備えた広場を形成します。】

- ・**にぎわいを育てる仕組みづくり**・・・持続的なにぎわいの創出に向け、**民間事業者の活力を最大限発揮できるよう公民連携による事業手法や管理運営の可能性**を検討していきます。
- ・**イベント利用への対応**・・・イベント利用にも対応できるよう、**歩行者空間の拡張や広場の使い方に工夫**を取り入れ、柔軟に活用できる空間とします。
- ・**トイレ機能の確保**・・・イベント時等の利用を踏まえ、駅前広場周辺の**民間施設におけるトイレの一般開放について、協力依頼**を含め検討します。

【問い合わせ先】

流山市 まちづくり推進部 まちづくり推進課
〒270-0192
千葉県流山市平和台1丁目1番地の1
(電話：04-7150-6090 /メール：toshiseibi@city.nagareyama.chiba.jp)



(左記QRコードから、基本計画の本編をご覧ください。)